



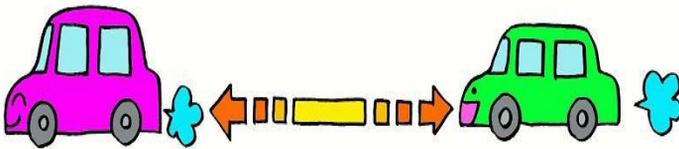
雨の日の交通事故防止！

これからの季節、梅雨に入り、雨の日に外出する機会が増えてきます。雨の日は、視界が悪くなるうえ路面も滑りやすく、車も歩行者も交通事故の危険度が高くなります。

交通事故を防ぐため、普段よりもゆとりを持った行動を心掛けましょう。

運転手の注意点

○雨の日は、晴れの日よりも速度を落とし車間距離を十分とって運転しましょう。



○急発進、急ハンドル、急ブレーキなど「急」がつく運転は横転、横滑りの原因となるので避けましょう。

○雨の日は視認性が悪く、歩行者や自転車を見落としてしまう危険が高いことから、普段より念入りに安全確認をしましょう。

傘差し運転の禁止



【広島県道路交通法施行細則
第10条第4号】

傘を差す、物を持つ等視野を妨げ、又は安定を失うおそれのある方法で、大型自動車又は普通自動車、原動機付自転車又は自転車を運転しないこと。



歩行者の注意点

○レインコートなどの服装は、車の運転手から見やすいように、明るい目立つ色のものにしましょう。

○傘をさすことで視界が狭まるため道路を横断する際は十分に安全を確認しましょう。

